

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ  
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

# 会報

2013 ▶ 2014  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

## プログラム

- 本日
  - 来賓卓話「留萌港と地域産業の関わり」  
留萌開発建設部  
留萌港湾事務所 所長 小路 邦夫様
  - 会員誕生日  
4月26日 齋藤 清藏
  - 特別慶祝(喜寿)  
4月26日 齋藤 清藏
  - 結婚記念日  
4月26日 中出 敏彦
- 次週予定  
－休 会－

No. 2602  
第39回 4月16日  
No. 2603  
第40回 4月23日

出席報告

前例会

|        |        |
|--------|--------|
| 会員総数   | 41名    |
| 出免会員   | 8名     |
| 出免出席   | 5名     |
| 基準会員出席 | 20名    |
| 出席率    | 69.44% |

前々会

|         |        |
|---------|--------|
| 第37回    | 4月2日   |
| 欠席会員    | 13名    |
| 内メイクアップ | 6名     |
| 修正出席率   | 94.42% |

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

## 会長報告

- 5月25日(日)羽幌町で開催される国際ロータリー第2510地区第1グループ都市連合会開催の案内を受領しました。
- ガバナー月信に新会員として梁川、松村両会員が写真入で紹介されました。

## 幹事報告

- 羽幌RCより会報No.1675~1678号及び4月例会案内を受領。
- 妹背牛RCより会報No.32~35号及び4月例会案内を受領。
- 先週例会にて皆様方よりご寄付いただいた、米山記念館への募金7000円を振り込みました。ご協力ありがとうございました。

## 委員会報告

会場監督 行徳会場監督

5月25日の羽幌で開催されるIMに於きまして、ネームプレートは各クラブで持参して下さいとの事でしたので、ご自宅へ持ち帰っている会員さんは速やかにネームプレートの箱に返却する事と、万が一紛失された方は会場監督までお申し付け下さい。

会員増強委員会 渡邊委員長

次週4月16日の例会は、会員増強委員会担当の例会です。楽しい夜間例会です。プログラムは「ロータリーの仲間を増やそう」ですが、例会場の変更がございます。当初富丸さんで6時30分を予定しておりましたが、都合で例会場の変更がございました。時間は一緒ですが、場所をシーレストラン(旧いちばんかん)に変更で

す。お間違えのないようにお願いします。

### 3分間情報……………

会員研修委員会 鶴城委員

ロータリーの友1月号に、比べてみよう「日本と韓国のロータリー」という記事が掲載されていましたので、発表します。

会員の性別や年齢、ロータリー歴、例会日の時間帯などの比較がなされ、韓国や世界平均との違いが円グラフで分かるようになっています。

会員の性別では、日本は女性の割合が5%であるのに対し、韓国では15%、世界平均では19%となっており、日本における女性の比率がかなり低い事が分かります。只、日本においては、女性社長の比率が7%程であることから考えると、妥当な数字とも考える事が出来ます。その他にも、様々な比較がなされているわけですが、中でも極端な数字が示されているのが、例会の時間帯です。世界的に見ると、夜間例会の比率は39%となっている訳ですが、日本に於いては夜例会はたったの4%に過ぎず。90%のクラブが、昼食をはさんでの昼例会となっております。

ここ10数年、会員が減少傾向にある中、増強を図る上でも夜の例会への移行を模索しているクラブも見受けられる訳ですが、大多数のクラブは依然として昼例会を中心とした例会を行っております。また、他の国の例会の時間帯を調べますと、会員数が世界第2位となったインドに於いては、夜の例会が77%、韓国に於いても48%のクラブが夜例会を行っており、この時間帯での例会は増加傾向にあるという事です。

また、フィリピンでは63%のクラブが夜に例会を行っています。世界的に見ると、夜例会が39%と初めにお話しましたが、この数字は日本が押し下げていると考えられますので、世界的には夜例会が主流と捉えることができます。夜の例会にすれば、会員が参加しやすくなり、増強の手段としても効果があることは誰もが承知している事なのでしょうが、夜の例会が増えない理由としては、日本のクラブが日本におけるロータリーの歴史や伝統を重んじているのでは

ないか、又は合理性や利便性に偏重しない、日本のロータリアンの気質があるからではないだろうか、などと私なりに勝手に考えてみました。

今回の3分間情報は、例会の時間帯に着目をしてお話をさせていただきました。私のつたない考えはともかく、データに関しては憶測ではありませんので、何かの参考にして戴きたいと思います。

### 【ミニ情報】

4月1日より領収書への印紙の貼り付けが、今までの3万円以上から5万円以上に変更されました。また、税額が表示されていれば、本体価格のみで5万円未満であれば印紙の貼り付けは不要との事です。詳しくは福士会計さんにお聞きいただければと思います。

### ニコニコBOX……………

- 4月7日の旗の波運動への参加、協力に感謝いたします。付け加えですが引越しました。  
堀社会奉仕委員長
- 先週の例会、所用で欠席いたしました。募金一緒に出させていただきます。山本直前会長

|     |          |
|-----|----------|
| 前 回 | 689,600円 |
| 今 回 | 5,000円   |
| 累 計 | 694,600円 |

### プログラム……………

「我が生い立ちパート2」

佐藤 潔 会員

私は昭和10年8月、留萌生まれの留萌育ちです。昭和20年小学校4年生の時に終戦を迎えました。その時の事で未だに記憶に残り忘れられないのが、玉音放送です。ラジオの前に皆が正座しそれを聞いていたのですが、その当時は何を言っているのかよく判りませんでした。後で聞いたのですが、これで日本が太平洋戦争に負けたのだということを教えられました。

この放送の中で「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び以って萬世の為に太平を開かんと欲す」

という一行です。これが昭和天皇の生の声でした。子どもの頃は日本は神の国であり、絶対負ける事は無い。最後に神風が吹き敵艦隊を全滅させると信じていました。教育もこの様な教育でした。また、戦争中は時折ラジオから大本営発表が流れ、常に日本の優勢が伝えられていましたが、これらは正反対であった事を後で知りました。

終戦の数日前にはアメリカのグラマン戦闘機が10数機での留萌空襲が2回あり、その目的は留萌港に停泊中の貨物船と留萌駅だったそうです。空襲のつどに防空壕に入り身を潜めていましたが、時々扉の隙間より空を見上げると港の北岸山上の方面より南岸の方面に急降下し、機銃掃射を繰り返しているのを見ました。短時間でしたが私にとってはとても長い時間を感じました。しかしながら、私にとってこの空襲は奇跡を起こしてくれました。と言いますのは、この年の5月より大病により寝たきり状態になり、この時期には満足に食べるものも無く、まして薬も無く、今では考えられない状態でして、そんな時に空襲で防空壕にようやく入れてもらったのですが、敵機が去った後は病気の事をすっかり忘れて外に遊びに出てしまい、しばらくして母親が私を捜しにきて、家に連れ戻されました。この空襲が病気をも忘れさせる程ショッキングであったのだと思います。この後は、病状が考えられないほどに快復に向かいました。

終戦の数日後、グラマン戦闘機が10数機の編隊を組んで、留萌上空を低空飛行で何回も旋回し、去っていきましたが、その時はパイロットの顔が見える位の低空飛行でした。戦後間もなく、色々な事がありました。一つは米国の進駐軍が留萌に来た事です。先頭車のジープに将校らしき兵士が小銃を構えており、その後ろから軍用のトラックに多くの兵士を乗せて何台も大町方面へ向かっていきました。現在の合同庁舎（旧留萌測候所）より黄金岬にかけて一帯が米国の兵舎が立ち並んで高い塀に囲まれていました。進駐軍が留萌に来る前に回覧が回り、絶対外には出ないようにとの事でした。二つ目は、一番大きな出来事で、留萌港に第二新興丸が船腹中央に魚雷を受けて大きな穴が開いた状態で

入港した事です。その時点では私は見ておりませんが、甲板には人間の肉片等で血の海だったそうです。停泊した船の大きな穴から流失した遺体を潜水夫が何人も何人も抱えて水面に上がってくるのを見ました。みんな女性と子供ばかりです。

当時は留萌港に鉄道の引込み線があり、その荷捌場としてプラットホームがあり、そこには沢山の棺や骨箱が積まれていました。これらは第二新興丸に乗船して亡くなられた人達の為の物です。それは子供ながら、異様な光景で全てを見なければ良かったと今でも後悔しています。無事であった人達は留萌の各家庭に落ち着き先が決まるまで民泊し、私の家にも女性の家族7名の方が、長い間宿泊していたのを記憶しております。この事について、以前道新に「三船は何故攻撃されたのか」という特集が載っていました。これは日本とロシア両国の研究成果に道新の取材を重ね合わせる事で全体像が輪郭を現しました。それを要約しますと、日本が無条件降伏をした直後に、なぜ1700人以上の日本人が命を奪われなければならなかったのか、樺太から緊急疎開者を乗せた輸送船三隻が、旧ソ連潜水艦に攻撃されたのはウラジオストックのソ連太平洋艦隊に所属するL12・L19の両潜水艦に1945年8月19日午前11時30分に留萌沖に出撃せよと緊急命令が下され、両艦への指令は8月23日午後8時まで留萌港北方の航路と港の偵察、午後8時以降は敵軍艦を見つけたら攻撃せよと命令を受けていたようです。

ソ連スターリンは米国トルーマンにヤルタ会談での合意事項に加え、留萌から釧路以北をソ連軍への降伏地域に含めるようにと要求、認められれば北海道全域の占領を窺う構えだった様で、ソ連軍は北海道占領の第一歩となる留萌上陸作戦を8月24日未明に予定しており、その支援が目的で潜水艦二隻を出撃させた。小笠原丸は難民1500人を乗せて大泊を20日午前11時に出航、第二新興丸が3600人を乗せて21日午前9時に、そして泰東丸は780人を乗せて同日午前11時に大泊を出航した。小笠原丸は稚内経由で小樽港へ、他の二隻は直接小樽港へと向かった。

ソ連の留萌上陸作戦の支援のために派遣され

ていた潜水艦は、留萌に到着後、留萌港周辺や灯台などを偵察し、結果を太平洋艦隊に22日午前2時過ぎ、「敵は偵察状態に無く、機雷も見当たらない」と報告している。その後L12が輸送船の航海灯を発見、この船が小笠原丸で半数が稚内で下船し、701人が乗船していた。航海灯を点灯すれば攻撃されないと米軍の指示に従ったが、発見からわずか3分後に魚雷攻撃され、小笠原丸の船腹に突き刺さり、増毛別荘の沖で沈没した。浮上したL12は、海面で助けを求める人々に情け容赦ない機銃掃射を行いました。次に攻撃を受けたのが、第二新興丸で、L19から発射された魚雷は船腹に命中、その後潜水艦が浮上し、止めを刺すべく艦載砲で攻撃をしてきた。第二新興丸は海軍の特設砲艦であったので、船首と船尾に二門の旋回砲と14丁の機銃を装備していて応戦した。まもなくソ連潜水艦から黒煙が上がった直後、潜水艦は海中に消えた。相手が沈没したように見えたが、ロシア側の資料によるとL19は近くの海中に潜み、第二新興丸はよろめくように留萌港へ向かったのを見届けたと報告しています。それから5時間後、小平鬼鹿沖に浮上し、泰東丸を襲撃、泰東丸の船員たちは降伏の意味で白いシーツを振ったが、L19は無抵抗の泰東丸に砲弾を浴びせ続け、泰東丸の沈没を確認した後、再び潜航し、太平洋艦隊本部に泰東丸撃沈、第二新興丸は損傷を負い留萌港へ向かったと報告。スターリンが北海道上陸作戦の中止を決めたのがこの日でした。そして、両潜水艦に「日本の輸送船を沈めないようにと命令した」その時は既に輸送船二隻が沈没、一隻は大破して死者行方不明者1700人以上という、北海道の歴史に残る悲惨な事件は一部始終を終わらせていた。

その後、ソ連スターリンは北海道占領作戦の凍結を指示した。ロシア人研究者の間では、もし留萌への上陸作戦が実施されていれば、北海道が沖縄の地上戦の舞台となり、朝鮮半島や東西ドイツのような分断国家となる恐れがあったと言っている。23日午後3時過ぎ、ソ連潜水艦L19は礼文島沖から宗谷海峡への渡航は午後7時からと報告後、ぷつぷつと連絡を絶った。機雷に触れて沈没したか、他のソ連潜水艦との同

士討ちかの真相は不明。当時のソ連軍関係者は、この三船には日本軍兵士が乗り兵器や軍事物資が積み込まれていると信じていた。以上が道新の特集の要約です。

私が小学校を卒業し中学校に進学する時には、私の二期先輩の方々より中学校制度が新制度になり、私が新制中学に入学した頃は教室が不足して、仮校舎を転々と移り、中学1年生から3年生まで東光小学校、旧女学校、港南中学校そして3年生になって初めて新しく出来た留萌中学校へ行く事ができ、ここで初めて机と椅子が当たりました。それまではミカン箱を持参し、机の代わりでした。

終戦後の小学校の教科書は、アメリカ軍の指示により、日本色が強く軍国主義に繋がるようなところは、墨で塗りつぶし、残っている所は半分以下しかなく、まったく意味不明な教科書でした。この少し後になってから給食という物が当たり、内容は焦げ臭い粉ミルクとコッパン1個でした。私が新制中学に入学してから学校が火災で次々と焼失、一部完成していた新制留萌中学校、留萌小学校、そして留萌高校(旧制留萌中学校)と消失致しました。

小学校の頃は、2月になると鯨漁が始まり大漁の時は赤旗が揚がり、学校が休みにになりました。そんな時は、まだ夜が明けないうちに港が騒がしくなり、今日は赤旗だなと思い、楽しみにしていたものです。

高校時代は、勉強もせずスポーツに明け暮れ、3年を過ごし卒業後大学へ進学しました。私が建築の仕事に進むきっかけは、東京で大学を卒業する1・2年前より東京の都内にある有名建築家の建造物を見て、非常に魅力を感じた事と、古い建築物に興味があり京都等の神社仏閣また古い町並みを見て感動し、将来の仕事は建築に携わりたいと思ったのがきっかけです。

そこでまず、建築の知識を身に付けなければと思い、通学していた大学教授に相談し、働きながら短期間で勉強の出来る学校を紹介して頂いたのが東京工業大学付属専攻科(国立・夜学)でした。受験し、何とか合格できました。入学してから、専攻科の講師に日中は働いて、確実に夜学に通学させてもらえる職場を紹介して頂

いたのが、明治大学工学部建築構造研究室で、実験助手として採用されました。ここでは、室長の助教授が博士号を取得するための実験データ作りで、内容は木材と集成材のクリープ実験でした。非常に時間のかかる実験であったので空き時間が多くあり、そんな時には助教授ご厚意で建築の3・4年の授業を受講しても良いとの許可を頂きました。また、4学年の構造ゼミナールにも参加させて頂き、勤務していた2年間で明大の建築科を卒業と同等の勉強をさせて頂いた事が私にとって非常に幸運な事と感謝いたしております。そしてここでは明大建築科の教授・助教授・専任講師と、多くの先生たちと知り合いになり、大変有意義に過ごさせて頂きました。

専攻科を卒業と同時に明大の助教授の紹介で大須賀設計事務所に入社し、ここでは千葉船橋信用金庫店舗の設計・管理の助手として勤務し、その後一番印象に残っているのが、岡山の中庄団地の造成工事の管理で、1月から8月まで長期出張で、この現場では仕事以外に北海道では体験できない事が多くありました。それは…

1. 田んぼの二毛作で、い草が植えられ、その後蓮華の花が一面に咲く。い草は畳に使われることは知っていましたが青々と生えているのを初めて見た事。蓮華の花も想像していたものと大きく違った事。
2. 田んぼの水が温み始めた頃に、鮒が群れをなし冬眠から覚めたように動けない状態で、手づかみが出来た。北海道ではこの様な光景は見たことがない。
3. 団地造成の境界線側に小さな六間川があり梅雨時期に氾濫し、田んぼに大きな鯉が流れ出し、それを手づかみする事が出来た。60cm

もある鯉が背ビレを出して田んぼの中を泳ぎ回り、それを皆で捕まえようと苦勞した事。捕まえた鯉は倉敷の中華料理店へ売りに行ったが売れなかった事。

4. 造成の埋立予定地にマスカット畑があり、ここは既に県が買収していたので勝手に収穫することが出来た。これは当時マスカットは6～7千円もしており、その頃の私の給料は1万3千円位でしたので相当の高級品でした。それを埋め立ての時期をずらして、収穫してから埋め立てた事。
5. 昼食時に飯場で従業員と一緒に食事食べていたのですが、鯛の鍋が出て、目玉を貰った事件。これは飯場のおばさんが気を遣ってくれて、北海道から来たのだからと言って鯛鍋を作ってくれたが、ゼラチン質の目玉が珍味とは知らず捨てようとしていた事。食べて見たがあまり美味しくは無かった事。
6. 造成地の周辺の草むらは蛇だらけ、草むらに入る時は垂木で露払いをしながら歩く事。棒を振って歩くと、ガサガサと蛇の逃げる音がするような大変蛇の多い場所だった事。
7. 床屋さんへ行った時、洗髪はしてくれるが顔は自分で洗う事。これは洗髪した後に洗面器にお湯がはってあり、横に石鹸が置いてあるのですが、自分で顔は洗うという今までに体験した事がない床屋さんだった事。

この様な初めての体験をして東京へ戻り、そしてわずか2年間の勤務でしたが、翌年4月に退職の許可をいただき、留萌に帰郷いたしました。その後、苦勞の連続でございましたが、現在に至っております。以上で我が生い立ちを終わらせていただきます。ありがとうございました。

No.2602 第39回 4月16日

●本日 移動夜間例会「会員増強委員会」



## 会長報告・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 米山梅吉記念館より、100円募金として7000円の恵贈のお礼状が届きました。
2. 対馬会員が市立病院に2回目の手術のため入院しました。一昨日手術を受けましたが、

すこぶる順調との事です。



## 幹事報告・・・・・・・・・・・・・・・・

- 赤平RCより会報No.2582～2585号を受領。
- 芦別RCより5月例会案内を受領。

- 砂川RCより5月例会案内を受領。
- 国際ロータリー第2510地区より2013~2014年度シドニー国際大会にて行われる「北海道ナイト」の案内が届いております。回覧します。

## ニコニコBOX ……

- 4月13日に行なわれた地区研修協議会に早朝より参加された各委員長の皆様大変ご苦勞様でした。改めて感謝申し上げます。

森(俊)会長エレクト

- 卓話をさせていただきました。 佐藤会員

前 回 694,600円

今 回 3,000円

累 計 697,000円

## プログラム ……

### 「会員増強委員会担当夜間例会

=ロータリーの仲間を増やそう=

会員増強委員会 渡邊委員長

本日の例会は「ロータリーの仲間を増やそう」というテーマでお話をさせていただきます。早いもので、中出会長年度も残すところ2ヶ月あまりとなってしまいました。新会員増強こそ我々留萌ロータリークラブを活性化する原点であります。残念ながら現在のところ前年度に比べ会員の純増は1名にとどまっています。

先日開催された情報集会において、皆様よりクラブに入会して良かったという意見を沢山いただきました。その様な事を念頭に置きながら、新会員候補の確認、新会員候補者の情報共有、勧誘の方法等について忌憚のない意見を交わしていただきたいと思います。また、新会員情報につきましては、会員増強委員会又は会長・幹事までお知らせ願いたいと思います。

会員増強の“増”は新会員を勧誘して会員の数を増やすという意味ですが、“強”は現会員の質の向上・強化によるクラブの活力維持という意味ですので、本日は、ロータリーの仲間を増やすと言う事と共に、皆様方のロータリーの絆の強化も図っていただきたいと思います。

それでは皆様、よろしくお願ひします。

……《No.2601つづき 海東 剛哲様》……

11月には、1~3日に全国ふるさとフェアに参加予定です。これは全国の郷土や食文化を広く一般に情報発信しようという主旨のもと、文化放送が主催するイベントです。毎年多くの自治体・団体・企業が集まり、全国各地の名物・特産品が立ち並び、20万人を超える集客があります。ここでは、南るもい米と海の幸を中心に留萌の食をPRする予定です。会場は横浜市の赤レンガ倉庫イベント広場です。また、今年で3年目となる神保町ブックフェスティバルにも参加予定です。これは東京三省堂との協働事業で、本の街神田神保町最大のイベントで留萌の食をPRいたします。

12月に入り、年の瀬でございまして、最後のうまいよ！るもい市が12月7日に開催されます。これは大水産祭りとしてのイベントです。場所は留萌中央卸売り市場で開催されます。また、12月にはニシン漬教室も開催いたします。海のふるさと館にて開催ですが12月上旬に開催予定です。それと今年度から開催予定ものですが、市内加工業者と協働して首都圏における数の子PR事業です。道産子プラザなどで数の子を中心とした水産加工品の試食販売を予定しております。

最後に1月から3月ですが、1月中旬に上川+留萌フェアとして札幌の歩行者空間での特産品催事への参加も予定しております。それと、オロロンスノーパラダイス(けあらしの里)として、冬の交流人口の拡大を目的として4年目の取組みですが、ボーイスカウトや子供キャンプの受け入れを実施しながら、厳しい冬の楽しみ創造する事業を実施します。昨年度は10名のツアー客を受け入れ、るもい浜焼き、ドラム缶風呂などで楽しんでもらいました。実施期間は1月~2月中旬です。

以上、2014年度の活動予定を皆様にご紹介をさせていただきました。これらの事業につきましては、観光協会単独では出来ません。皆様方の熱いご支援があってこそ成り立つ事業ばかりでございまして。どうぞ今後とも皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。